イザというとき慌てない! 「男と女の快護学」

介護保険入門 上手に使うカンどころ (9) かかりつけ医選びのコツ

> 端の検査や治療ができる大病院が第一で 病気なら、診療科別に専門化した最先 いものです。若いころのような急性期の

です。そこで指名した医師が書く意見

の認定にあたり、医学的所見を記載す があります。主治医意見書(介護保険 請用紙には、必ず医師名を記入する欄 54号などでもお伝えしましたが、その申 (包括)などで行う必要があることは、

る重要な書類)の記入を依頼するため



おちとよこ

高齢期の、かかりつけ医選びは、悩まし

)急性から慢性へ。変わる医師選び

高齢者介護、医療、福祉、教育、育児、暮らし、それにまつわる家 族、女性問題を中心に、新聞、雑誌等に執筆のかたわら、講演や テレビに出演。国、自治体委員を歴任。

主な著書に「一人でもだいじょうぶ~晴ればれ冬じたく~」日本 評論社、「第3版・介護保険上手に使うカンどころ」「入院・介護 SOS | 創元社、「シングル介護 | NHK生活人新書 他。また「生活 図鑑」「あなたの小さかったとき」「ただいまお仕事中」福音館書店、 「おばあちゃんのさがしもの」岩崎書店など、絵本、児童書も多数。

はとても重要です。

という手続きを、地域包括支援センター

険証を添付して、「要介護認定の申請」

介護サービスを利用するには、介護保

保険を上手く使うためにも、医師選び とのご縁が深まるのが高齢期。実は介護 も健康でいたいものですが、嫌でも病院 ことでしょう。出来ることならいつまで

各自各様の健康法をお持ちの方は多い の悠悠川柳にほのぼの。この作者同様に、

ほんのりと酔って夫婦の薬用酒…前号

な役割を果たします

●要介護認定の明暗を握る医師

用したいときにも、かかりつけ医は重要

「在字療養支援診療所 | の設置基準

●どうする?かかりつけ医の探し方

息が聞こえてきそうですが・・・。

も取れないクリニックばかり」というため

でも、「夜はシャッター

が閉まって、連絡

まで行っていればベスト。

介護保険の認定審査会委員や看取

載ができる。

介護保険の主治医意見書の詳しい

者医療に明るい。

認知症や全身症状が把握でき、高齢 病院紹介と情報提供をしている。 入院治療や専門治療が必要なとき

- 24時間連絡を受ける保険医または看護職員を配置し、 その連絡先を文書で患者や患者家族〈以下患者〉に提 供していること
- 供していること
- 他の医療機関や訪問看護ステーション等との連携で、 氏名、担当日などを文書で患者に提供していること。
- 他の医療機関との連携で、緊急入院を受け入れる体制 を確保していること。
- ケアマネジャーと連携していること。

業医よりはるかに高い診療報酬を得ら みにある設置基準を満たすと、一般の開

れるので、近年、急増しています。

近くでこうした診療所を探すには

増やす政策を始めました。それが「在宅 療養支援診療所」というもので、下の囲

診や自宅での看取りまで行う開業医を

こうした声に遅ればせながら、国も往

• 定期的に看取り数を報告していること。

ただ残念ながら、帯に短したすきに長

る「介護のお金」をお届け す。千里の道も一歩から。(次号は気にな 利用しながら、日々心がけておくことで せんから、健診や風邪など診察の機会を 信頼関係です。これは「朝一夕とはいきま かいないもの。そこで大切なのは相性と し、と100%満足できる医師はなかな

ヘルパー、ご近所の口コミも役立ちます。 できます。ケアマネジャーや訪問看護師 の医療機関や会員リストを見ることが 会」で検索すると、在宅医療を行う全国 か、インターネットが使えれば、「ワムネッ 最寄りの包括や医師会へ問い合わせる ト」や「全国在宅療養支援診療所連絡

24時間、365日の往診や連絡が可

総合的な診療にも慣れている。持病の専門医で、開業後経験な

病の専門医で、開業後経験を積み、

院では、かえって全身的な総合治療がむ 認知症など、慢性的な症状に長く付き すが、高血圧や糖尿病、心臓や呼吸器、 いきません。専門的に細分化した大病 合わなければならない高齢期は、そうは ビスが利用できなくなることがありま によっては自立と判定され、必要なサ 書の内容次第では、実際より軽度、場合

出来れば自分より年齢が若い 何でも相談しやすい

齢期の医師探しの条件は、

ービス利用にも欠かせない高

高齢期の、かかりつけ医の条件

のが高齢期。さらに、介護サー

·ビスを利

でも楽に「治める」治療へと変わりゆく

「治す」ことから、全身の症状を少し

でも病院へ通えるとは限りません。

は転勤もあります。また、患者がいつま つかしくなることもあります。勤務医

- ・他の保険医と連携して、24時間往診が可能な体制を確 保し、往診担当医の氏名、担当日などを文書で患者に提
- 24時間訪問看護の提供が可能な体制を確保し、担当の

快護のポイント

「高齢期は、大病院の 有名医より、近くで 相性のいい開業往診医を」

2015年1月発行 悠悠ライフ59号より。無断転用・転載を禁じます